

支 所 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

支所名	上甌支所	支所長名	高橋 三丸
-----	------	------	-------

支所の 経営資源	構成人員	計	職員	嘱託	計
			23人	7人	30人

①支所の使命 (組織の存在価値)	支所は、地域住民に親しまれ、信頼され、身近に感じられるような存在であるべきことから、以下のことを支所の使命とする。 (1) スピーディで質の高い公共サービスを提供すること。 (2) 市民との協働・参画で地域力の向上を目指すこと。 (3) 安全・安心の地域社会の形成を図ること。 (4) 本庁との連携を密にし、潤滑な事務事業を遂行すること。	②組織目標像	【支所の目標像】 (1) 職員自ら果敢に挑戦する意識の高揚。 (2) 地域活動への積極的な参画。 (3) 市民との信頼関係が構築されている職場の形成。 (挨拶、懇切丁寧、正確、スピーディ)
---------------------	---	--------	--

平成23年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標 (めざそう値)	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況 (年度中間)	⑧年度末の達成状況
共生・協働の推進	(1) コミュニティ協議会との連	① 各種行事等への支援 ② 防犯灯の整備	○ ① 全面的に支援 ② 交付決定済みで工事発注準備中 中甌自治会 2カ所	
	(2) 社会福祉団体との連携	① 社会福祉への支援 (保健師による地区民児協定例会等への出席)	○ ① 各種健診前に健診日時・内容等を説明	
安全安心な地域づくり	(1) 防災・防犯の推進	① 上甌救難所訓練の実施 ② 自主防災組織の訓練実施	○ ① 7月3日に実施済み ② 7自治会の内3自治会で実施済み ・9月4日 江石、桑之浦 ・6月12日 平良	
スピーディで質の高いサービス提供	(1) 本庁・支所の情報の共有化	① 共有ファイルの活用	○ ① 随時活用している	
観光の振興	(1) 観光施設活用推進	① 観光船「かのこ」を周年型運航への変更 (観光交流人口の増)	○ 乗船者実績大幅増 9月末現在の利用者数 1,307人	

平成23年度

支 所 経 営 方 針

薩摩川内市

				対21年度実績120%増 対23年度計画 36%増	
	(2) イベントの推進と運営協力	① 甌大明神マラソン大会 ② 夏祭り・花火大会	○	① 11月20日実施予定 9月から準備開始 ② 7月31日実施済み	
農林水産業の振興	(1) 水産業の振興	① 離島漁業再生支援交付金事業の推進 ② オニヒトデ・ウニ駆除事業、魚貝類中間育成放流事業(クロアワビ)	○	① 本年度は平良地区で実施 上半期進捗率60% ② 駆除事業7月実施済み オニヒトデ 5,000匹 ウニ 1,000個 放流事業5月実施済み アワビ 20,000個	
	(2) 畜産業の振興	① 草地林地一体的利用総合整備事業(道路・用水整備、排水路整備)	○	・8月発注 ・3月完成予定	
生活基盤の整備	(1) 飲用水施設整備	① 老朽化給・配水管布設替 ② 中野地区水源確保	△	10月末までには発注予定	
支所運営経費の削減 職員の健康	(1) 光熱水費の削減	① 冷暖房機器の運転時間の厳守 ② 節電の徹底	○	① 職員等への周知の徹底 ② 不要蛍光灯23本の取り外し等	
	(1) 職員の健康管理の徹底	① 保健師による定期的指導の徹底 ② メタボ解消の為にラジオ体操の実施	○	① 個別指導を随時実施 ② 始業前のラジオ体操を実施中	

支 所 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

住基カード・交通補助券の普及	(1) 市民への周知の徹底	① 支所便りへの掲載 ② 広報ポスターの掲示及びチラシ配布の推進	△	① 未掲載(10月20日号に掲載予定) 現取得率 43パーセント ② 窓口に掲示し住民への周知を図っている	
⑦年度中間総括	・飲用水施設整備について10月末発注予定であるが、本庁担当課と連携を図りながら早期完了を目指したい。 ・住基カード取得について、窓口対応時に職員からの説明等を通し更なる取得率を高めたい。 ・その他の事業については、概ね順調に進んでいる。特に、4月から就業時前に市民歌の放送及びラジオ体操の励行に取り組み、明るい職場環境が保たれている。				
⑨年度末総括					